

平成19年度（第51回）
岩手県教育研究発表会発表資料

教 育 相 談

別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める
指導・援助の在り方に関する研究
ソーシャルスキルトレーニングをとおして

平成 20 年 1 月 9 日
長 期 研 修 生
所属校 盛岡市立下橋中学校
氏 名 堤 晶 子

< 目 次 >

研究目的	1
研究の方向性	1
研究の内容と方法	1
1 研究の内容と方法	1
2 実践の対象	2
研究結果の分析と考察	2
1 別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の在り方についての基本構想	2
(1) 別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める 指導・援助の在り方についての基本的な考え	2
(2) 別室登校生徒の指導にSSTを取り入れる意義	2
(3) 別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の構想	3
(4) 研究の基本構想図	5
2 別室登校生徒に対する人とかかわる力についての実態調査及び調査結果の分析と考察	7
(1) 実態調査の計画	7
(2) 実態調査の方法	8
(3) 実態調査の結果及び分析と考察	別冊資料2参照(資料2は当日配布)
3 別室登校生徒に対するソーシャルスキルトレーニングを取り入れた 人とかかわる力を高める指導・援助の手だての試案	8
(1) 別室登校生徒に対するソーシャルスキルトレーニングを取り入れた 人とかかわる力を高める指導・援助の手だての試案	8
(2) 検証計画	10
4 指導・援助の実践及び実践結果の分析と考察	} 別冊資料1・2参照 (資料2は当日配布)
(1) 手だての試案を取り入れた指導・援助の概要	
(2) 実践結果の分析と考察	
5 別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める 指導・援助の在り方についてのまとめ	
研究のまとめと今後の課題	12
1 研究のまとめ	12
2 今後の課題	13

<おわりに>

【引用文献】

【参考文献】

研究目的

文部科学省の調査では、中学校において、不登校状態にある生徒が学校復帰できるようになった措置として、別室に登校させての指導・援助が効果的であったとされている(2004)。別室登校においては、教師が集団での活動に参加を促したり、友人との人間関係の改善を支援したりしながら、ソーシャルスキルトレーニングをとおして、生徒が状況に応じて適切に行動するために必要な、人とかかわる力を高め、学級での生活に適應できるよう指導・援助することが大切である。

しかし、別室登校生徒の中には、自分は学級の生徒たちに受け入れられるだろうか、うまくかかわっていけるだろうかといった不安や緊張を訴えて、学校行事への参加や教室復帰に向けた担任や学級の生徒たちからの働きかけに応じにくくなっている生徒がみられる。これは、学級の生徒たちに、自分の気持ちを素直に表現して仲良くしたり、困っている時に助けを求めたりすることができずにいたり、また相手の反応を過度に受けとめ、疎外感を感じてしまったりするため、学級での生活に自信がもてず、担任や学級の生徒たちからの働きかけに応じようとする意欲が高まらないものと思われる。

このような状況を改善するためには、別室での生活の中で、ソーシャルスキルトレーニングをとおして、相手からの働きかけに対する好意的な応答や相手に対する好意的な働きかけのスキルを身に付けさせ、集団での活動への参加意欲や学級での生活意欲を促進することが必要である。

そこで、この研究は、学級での生活や人間関係での不安や緊張を訴え、担任や学級の生徒たちからの働きかけに応じにくくなっている生徒に対し、ソーシャルスキルトレーニングをとおして、人とかかわる力を高める指導・援助の在り方を事例的に明らかにし、別室登校生徒の指導・援助に役立てようとするものである。

研究の方向性

別室登校生徒に対する指導・援助において、相手からの働きかけに対する好意的な応答スキルと相手に対する好意的な働きかけのスキルを身に付けるソーシャルスキルトレーニング(以下「SST」と記す)を行えば、人とかかわる力が高まるであろう。

研究の内容と方法

1 研究の内容と方法

- (1) 別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の在り方に関する基本構想の立案(文献法)
別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助についての基本的な考え方をまとめるとともに、基本構想を立案する。
- (2) 基本構想に基づく指導・援助の実践(質問紙法、面接法、観察法)
基本構想をもとに、人とかかわる力を高める指導・援助を実践する。
- (3) 実践結果の分析と考察(記録法)
実践結果について分析と考察を加えることにより、基本構想に基づく指導・援助の在り方を確かめる。
- (4) 別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の在り方についてのまとめ
実践結果の分析と考察を基に、別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の在り方についてまとめる。

2 実践の対象

中学校第2学年別室登校生徒

研究結果の分析と考察

1 別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の在り方についての基本構想

(1) 別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の在り方についての基本的な考え方

中学校において、不登校状態にある生徒が学校復帰できるようになった措置として、全国では約4500校で別室に登校させての指導・援助が効果的であったとしている。

杉浦(1992)によれば、不登校と保健室登校の関係は、不登校になりかけている状態での不登校防止のために生活する場、不登校から脱したものの教室へ戻る前の生活の場として想定されている。この研究ではこれら二通りを別室登校ととらえる。また別室とは教育相談室、図書室、校長室、コンピュータ室、保健室など教室以外の部屋であり、別室登校生徒とは、常時別室にいるか、特定の授業には出席できても、学校にいる間は主として別室にいる生徒と考える。

別室登校生徒は、「別室から教室までの心理的距離を、自宅から学校まで以上に遠いと感じ、教室復帰に向けてさらに一歩進むための何かが不足しているために、別室での生活が長期に亘っているのではないか」(小林, 2002)と考えられている。別室での生活の中で、教室に向けてさらに一歩進むために不足している何かを見つけたり補ったりしていくことが、別室登校生徒に教師がかかわる目的と思われる。別室登校生徒が感じている教室までの心理的距離は、自分は学級の生徒たちに受け入れられるだろうか、うまくかかわっていけるだろうかといった学級での生活や人間関係での不安や緊張に左右されている。

この不安や緊張を和らげるためには、相手の考えや感情、相手の反応に対する自分の受けとめ方、状況に応じた適切な行動は何かに気付くとともに、担任や学級の生徒たちからの働きかけに応じたり、自分の思いや考えを相手に伝えたりすることができるようになることが必要であり、このような姿を人とかかわる力が高まる姿ととらえる。

人とかかわる力が高まることの構成要素を「受けとめ方に気付く」「意欲が高まる」の2つと考え、その変容をめざして、相手からの働きかけに対する好意的な応答と相手に対する好意的な働きかけのスキルを身に付けるSSTを行うこととする。人とかかわる力が高まる姿の2つの構成要素の具体的な内容を【表1】にまとめた。

【表1】人とかかわる力が高まる姿の具体的な内容

構成要素	具体的な内容
受けとめ方に 気付く	・相手の考えや感情に気付くことができる ・相手の反応に対する自分の受けとめ方に気付くことができる ・自分の行動をふり返り、状況に応じた適切な行動は何かに気付くことができる
意欲が高まる	・担任や学級の生徒たちからの働きかけに応じようとする ・自分の思いや考えを相手に伝えようとする

(2) 別室登校生徒の指導にSSTを取り入れる意義

ソーシャルスキルは、第一に学習性のスキルであること、第二に応答と働きかけから成り立っているという特徴をもつ(佐藤, 2003)。対人関係に問題を抱える生徒は、応答と働きかけのどちらも好意的にできないことが多い。相手の働きかけに対する好意的な応答は、相手に関心を示していることを伝えると同時に、相手の働きかけを承認しているものである。また相手

への好意的な働きかけは、自分が相手の行為に関心をもっていることを伝える働きをしている。このため好意的な応答や働きかけを示さない生徒は、相手からの応答や働きかけを徐々に失ってしまい、相手からネガティブな評価を受け、結果的には人とかかわることからの回避的行動や孤立的行動を強めてしまう恐れがある。別室登校生徒は、相手の反応を過度に受けとめ、疎外感を感じてしまったり、学級の生徒たちに自分の気持ちを素直に表現して仲良くしたり、困っている時に助けを求めることがうまくできなかつたりするため、学級での生活に自信がもてず、担任や学級の生徒たちからの働きかけに応じようとする意欲が高まらないものと思われる。以上のことから別室登校生徒には、状況に応じて適切に行動するために必要な好意的な応答と働きかけができるようになることが必要と考える。つまり相手の考えや感情、相手の反応に対する自分の受けとめ方、状況に応じた適切な行動は何かということに気付くとともに、担任や学級の生徒たちからの働きかけに応じようとしたり、自分の思いや考えを相手に伝えようとしたりすることで、相手からの応答や働きかけを失わないようにすることができる。

そのためこの研究では、応答と働きかけから成り立ち、学習することが可能であるソーシャルスキルの中から、好意的なスキルを取り上げ、生徒の実態に即してトレーニングすることが有効であると考えられる。

(3) 別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の構想

ア 好意的な応答のスキルと働きかけのスキル

学校生活に必要なソーシャルスキルには、相手、状況、場所などによって様々なものが考えられるが、人とかかわる力を高めるためには、生徒が状況に応じて適切に行動できるようになるためのスキルが必要である。そのため、好意的な応答のスキルと働きかけのスキルを取り上げてSSTを行うことが有効であると考えられる。好意的な応答のスキルと働きかけのスキルは、相手に敵意や不快感を与えずに相手からの働きかけを受けとめて自分の気持ちや反応を伝えられるようなスキルととらえる。好意的な応答のスキルと働きかけのスキルは「対人関係の問題解決手段」(SST普及協会)で示しているスキルの中から、好意的な応答と働きかけを身に付けるために有効と考えるスキルを基に、【表2】に示した23項目にまとめた。さらに、好意的な応答のスキルについては「態度中心」「態度と言葉」「言葉中心」の3つに分類した。

【表2】好意的な応答のスキルと働きかけのスキル

好意的な応答のスキル		好意的な働きかけのスキル		
1	態度中心	素直にがっかりした態度を示す	16	自分の立場、状況を説明する
2		困った態度を示す	17	情報を伝える
3		間をおく	18	情報や説明を求める
4	態度と言葉	あいさつをする	19	自分に手助けが必要であることを強調する
5		人の要求に応じる	20	相手の立場・感情を理解し、自分の立場を主張する
6		歩み寄る	21	要求をする
7		あやまる	22	提案や誘いをする
8		感謝の気持ちを言葉に表す	23	後の約束をとりつける
9		うなずく あいづちをうつ		
10	言葉中心	人の要求をていねいに断る		
11		調子をあわせる		
12		相手をほめる		
13		あいまいな表現をする		
14		話題を変える		
15		ていねいに話を終わらせる		

イ アセスメントに基づく好意的な応答と働きかけのスキルの決定

実際にSSTを行うに当たっては、ソーシャルスキルチェックシートによる実態調査や人とかがわかる力に関するアンケートに基づくアセスメントを行い、好意的な応答のスキルと働きかけのスキルの中から選定して行う。

【表3】取り上げるスキルの順位

順位	スキルの内容
1	既にできているが、指導・援助により更に伸ばしたいスキル
2	別室登校生徒にとって必要性が高いスキル
3	指導・援助の結果、今後伸びる可能性の高いスキル

【表3】に示したように、はじめに「既にできているが、指導・援助により更に伸ばしたいスキル」を、次に「別室登校生徒にとって必要性が高いスキル」や「指導・援助の結果、今後伸びる可能性の高いスキル」を計画的に選定する。

SSTにおいては【表4】のよいコミュニケーションの要素である「視線」「身ぶり手ぶり」「声の調子」「表情」「話の内容」5項目を組み合わせることで、自分の気持ちや相手との関係性を、より好意的に相手に伝えることができると考える。

【表4】よいコミュニケーションの要素

番号	内容
	視線
	身ぶり手ぶり
	声の調子
	表情
	話の内容

ウ 別室登校生徒に対するSST

この研究では、一般的にSSTで用いられている「基本訓練モデルにおけるセッションの流れ」(SST普及協会)を基に、6つの場面で構成されるSSTを別室登校生徒に対して行うこととし、その進め方を次頁【図1】に示した。

(ア) 導入

導入にアイスブレイキングを取り入れる。アイスブレイキングとは、緊張し受け入れる雰囲気のできていない状態を、リラックスし安心感のある状態にしていくことである。どんな自分で接したらよいか、どこまで自分を出してよいか、こんなことを言ってもよいか等の不安や緊張を和らげていく時間である。5～10分程度のショートエクササイズで1分間スピーチやすごろくトーク等を行う。スピーチのテーマや発表の順番の決め方について、少しずつ変化を加えながらすすめる。

(イ) 「SSTワークシート」の活用

別室登校生徒にSSTを行う場合、活動全体の流れやロールプレイの場面設定等を視覚的に提示し、気付いたことや感想を記録として残すため、「SSTワークシート」を活用することとした。「SSTワークシート」は、次頁【図1】に示した別室登校生徒に対するSSTの内容に沿って1時間1ワークシートを基本として構成したシートである。また具体的なスキルの内容は、河村茂雄他編著(2007)による「いま子どもたちに育てたい学級ソーシャルスキル小学校中学年」「同高学年」や高取しづか(2007)による「イラスト版気持ちの伝え方コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング」を基にしている。

【図1】 課題提示ではその時間での活動の概要を説明し、活動名を「SSTワークシート」のタイトルに反映させる。課題にかかわる場面を設定し、その場面における自分の考え方や行動のふり返りを具体的に書きこむ。書くことによってふり返りを深め、ロールプレイに向けての準備とする。1枚のワークシートの中で場面設定を複数提示する時は、抵抗感を減らすため、初め

はあまり不安や緊張を感じない場面を設定する。それから徐々に不安や緊張を経験したことがあるような場面を配置していく。その際生徒が興味・関心を失うことのないよう提示や発表の仕方等に工夫を加える。

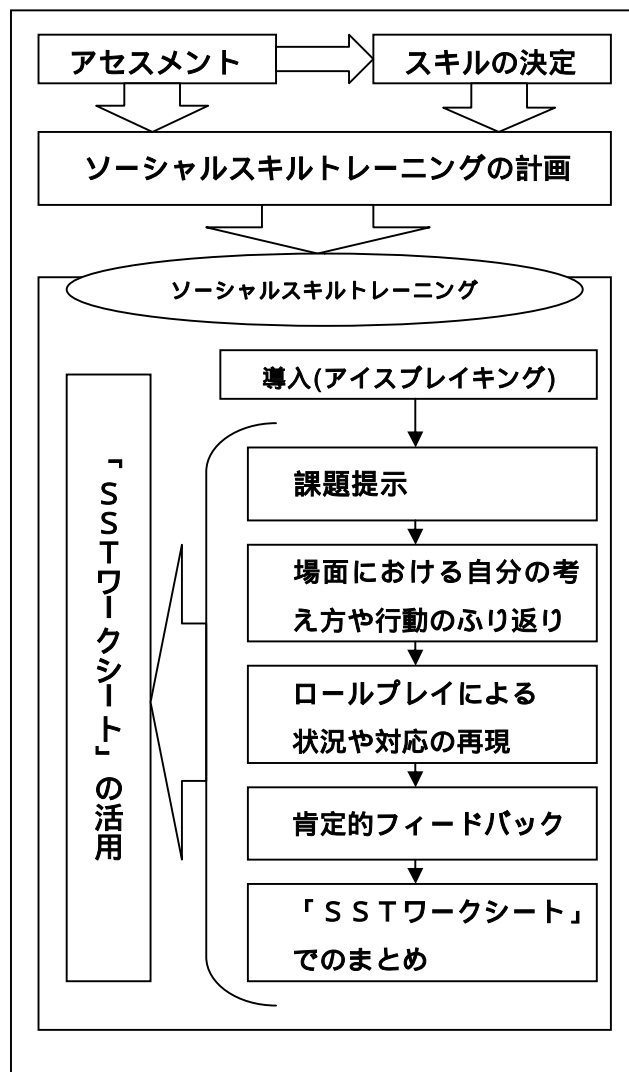
また では自分がどのように考え行動していたか、また行動しようと思うか「SSTワークシート」にまとめるとともに、よいコミュニケーションの要素については、「気を付けること」として具体的に記入する。

その後一人一人順番に、設定された場面での様子を話し、スキルによってはメンバーの力を借りて、のロールプレイによる状況や対応の再現を行う。この研究では別室登校生徒A・Bと指導者の3人での形を基本とし、支援員や同級生が一人加わった4人でのSSTも計画する。ロールプレイを行ってみて、メンバー同士で「ここがよかった」「こうしたほうがいい」と肯定的フィードバックをしたり「こんな場合はどうするのか」等質問をしたり、感想や反省を交流することでふり返りを確かめ、気付きを深める。での活動場面をとおして「受けとめ方に気付く」ことができると考える。

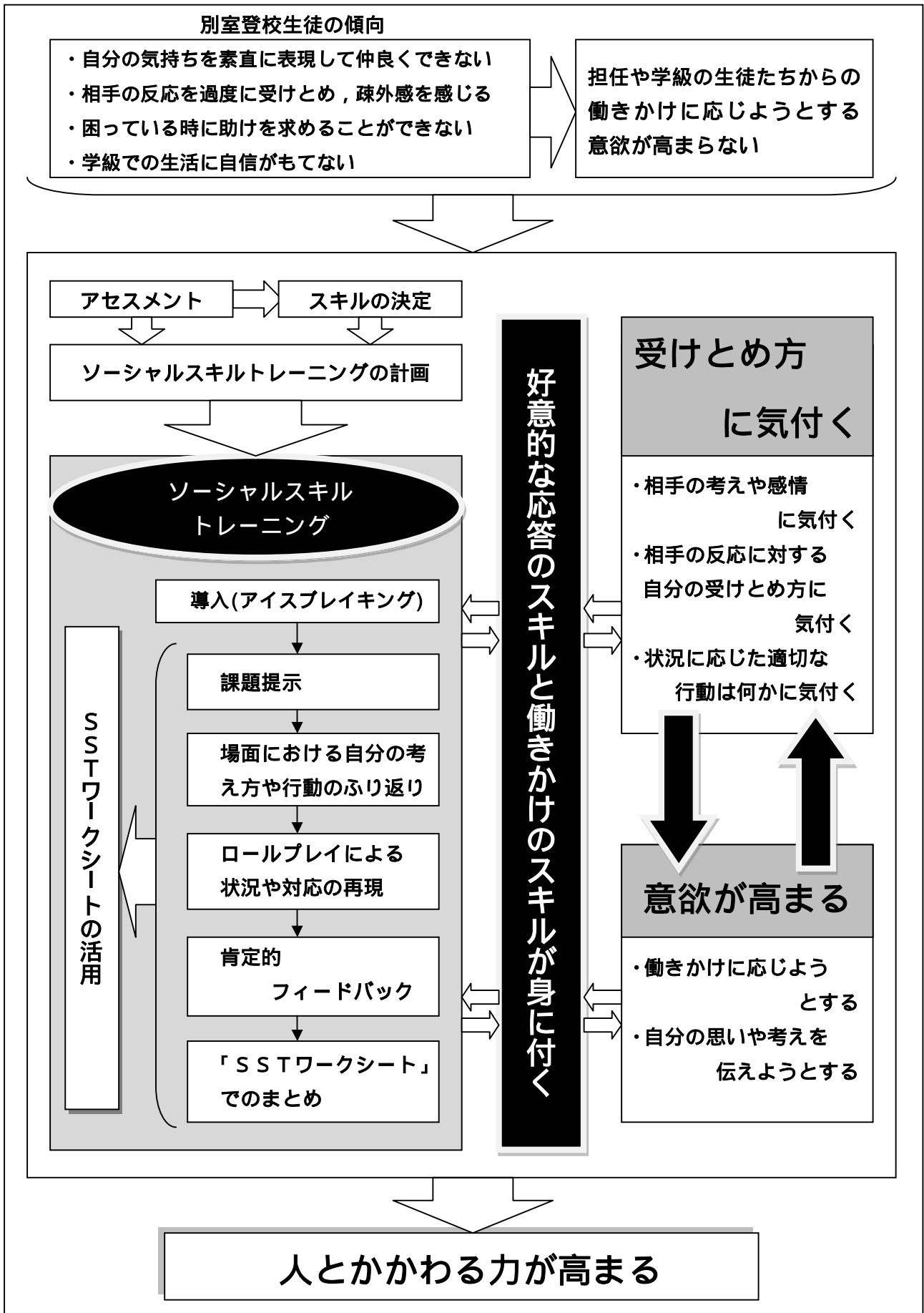
続く「SSTワークシート」でのまとめでは、活動場面を経て感じたことや発見したこと、日常生活に生かしたいと思ったことを話すだけでなく、書いてまとめる中で、生徒自身が「意欲が高まる」状態を確認できると考える。スキルによっては1時間の展開の中で設定された複数の場面毎に を順不同で行うこともある

(4) 研究の基本構想図

以上の考えに基づき、【図2】「別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の在り方に関する基本構想図」を作成した。



【図1】別室登校生徒に対するSST



【図2】別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の在り方に関する基本構想図

2 別室登校生徒に対する人とかかわる力についての実態調査及び調査結果の分析と考察

(1) 実態調査の計画

ア 目的

別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の構想に必要な資料を得るために行う。また別室登校生徒の傾向を客観的に把握するため、所属学級生徒に対しても同様の調査を行う。

イ 対象

中学校第2学年別室登校生徒2名 所属学級生徒30名

ウ 期間

平成19年8月27日、28日(2日間)

エ 内容

別室登校生徒と所属学級生徒に対して、人とかかわる力を高める「好意的な応答のスキルと働きかけのスキル」(【表2】参照)について、学校生活の中で必要な行動や場面を設定したソーシャルスキルチェックシート(【表5】参照)を作成し調査を行う。また別室登校生徒には、人とかかわる力に関するアンケートを行い、客観的な資料としておさえる。

【表5】ソーシャルスキルチェックシート

		している	いつもしている	ときどきしている	あまりしていない	ほとんどしていない
1	好意的な応答のスキル	態度中心				
2		がっかりした時、素直にがっかりした態度を示していますか				
3		相手の質問に答えにくい時、困った態度を示していますか				
4		友達とけんかをした時の仲直りは、少し間をおいてからにしていますか				
5		先生や友達に会った時は、自分からあいさつしていますか				
6		友達の頼みを聞ける時は、聞くようにしていますか				
7		自分と考えが違った時、相手の考えにも耳を傾けようとしていますか				
8		失敗した時、言葉にしてあやまっていますか				
9		うれしいことをしてもらった時、感謝の言葉を言っていますか				
10		友達の話を聞くときうなずいたり、あいづちをうったりしていますか				
11		友達から頼まれた時、相手を怒らせない断り方を考えて言っていますか				
12		言葉中心				
13		友達と話をする時、相手の話題に合わせようとしていますか				
14		友達にほめ言葉を言っていますか				
15		相手が傷つかないように言い方を工夫していますか				
16	好意的な働きかけのスキル	雰囲気を考えて話題を変えていますか				
17		自分が言いたいことを最後まで言っていますか				
18		遅れたり、難しく取り組めなかったりした時、理由を説明していますか				
19		言いたいことを相手にわかりやすく伝えて言っていますか				
20		説明されてわからないことがある時、もう少し詳しくおしえてほしいと言っていますか				
21		わからないことがある時、友達や先生に質問していますか				
22		誘われたり、頼まれたりした時、「いいよ」「いやだ」など自分の気持ちを言っていますか				
23		自分がしてほしいことを友達に伝えて言っていますか				
		一緒に活動しよう誘ったり、提案したりしていますか				
		相手の都合が悪い時、いつなら良いか聞いて言っていますか				

「いつもしている」4点、「ときどきしている」3点、「あまりしていない」2点、「ほとんどしていない」1点に点数化する。

(2) 実態調査の方法

この研究の対象生徒である別室登校生徒2名とその所属学級生徒30名にソーシャルスキルチェックシートに基づく調査を行った。またこの研究対象生徒である別室登校生徒2名に人とかかわる力に関するアンケートを行った。

(3) 実態調査の結果及び分析と考察

別冊資料2 pp. 1 - 2 参照

「注」個人情報保護のため事例にかかわる別冊資料2は当日配布，回収いたします
以上のことから，SSTにおけるスキルの配置を決定し，【図3】に示す。

項目	活動名	好意的な応答のスキル	好意的な働きかけのスキル
1	見のがすな！ 聞き手のNGサイン！	9うなづく あいづちをうつ	
2	MISSION39 ありがとうチャンスを逃すな！	8感謝の気持ち を言葉に表す	
3	忘れそうなごめんなさい	7あやまる	
4	ほめ方十人十色	12相手をほめる	
5	どんな質問がいいかな？		19自分に手助けが必要 なことを強調する
6	君はどっちが うれしいタイプ？	6歩み寄る 13あいまいな表現をする	
7	説明と質問の ポイントはいっしょ！		18情報や説明を求める
8	話したとおりに描けるかな？	15ていねいに話を 終わらせる	17情報を伝える
9	話し合い名人 君はどっち？		16自分の立場・状況を説 明する
10	一枚うわての 誘い上手・誘われ上手		22提案や誘いをする
11	気持ちよい頼み方と断り方	5人の要求に応じる 10人の要求を ていねいに断る 13あいまいな表現をする	21要求をする 23後の約束をとりつける
12	人生のもしもカード 友だちと 気まづくなったときの巻		20相手の立場・感情を理解 し自分の立場を主張する
13	どんな理由なら納得できる？		20相手の立場・感情を理解 し自分の立場を主張する
14	グループ活動 これだけは許せないランキング	6歩み寄る	
15	自分の気持ちと向き合おう	↓	↓ 20相手の立場・感情を理解 し自分の立場を主張する

スキル7，8，9，12の矢印は5以降の活動でも用いることを示す

【図3】好意的な応答のスキルと働きかけのスキルの配置

3 別室登校生徒に対するSSTを取り入れた人とかかわる力を高める指導・援助の手だての試案

(1) 別室登校生徒に対するSSTを取り入れた人とかかわる力を高める指導・援助の手だての試案

1時間につき1枚のワークシートを使用することを基本とし，別室登校生徒に対するSSTを取り入れた人とかかわる力を高める指導・援助の手だてを次頁【図4】のように考えた。

場 面 (時間・分)		指導・援助の内容	留意点と確認のポイント
導 入	導入 (5~10) アイスブレイキング	<ul style="list-style-type: none"> ・時間は5~10分程度 ・30秒じゃんけんやアドジャン、さいころトーク、1分間スピーチ等を計画的に行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー全員が、気持ちよく参加するため、順番や話題の決め方の変化、次の人へのつなげ方や終わった後の拍手等すすめ方をパターン化する
	課題提示 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを手渡し、今日の課題についてタイトルや内容を説明する 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな場面を取り上げるのか、話し合い、生徒の理解を確かめる ・導入からの流れを壊さない
展 開	今までの考えや行動を振り返る (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・設定された場面について今までの考え方や自分の行動を振り返り、「SSTワークシート」にまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・よく使う「セリフ」 ・身ぶり手ぶりや表情 ・声の調子や視線 ・その時の気持ち
	ロールプレイによる状況・対応の再現 (5~10)	<ul style="list-style-type: none"> ・でまとめた内容を、他のメンバーとペアでロールプレイをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルによって頼む役・頼まれる役のように二役ある場合、できる限り両方体験させる ・スキルによって、ペアの組み合わせを変えたり、別室以外の場所で行ったり等の変化をつける
	肯定的フィードバック (5~10)	<ul style="list-style-type: none"> ・互いのロールプレイの様子を見ながら、行動やセリフの良かったところを出しあう ・詳しく知りたいことについて質疑応答を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず「ロールプレイがうまくできていること」をほめる ・「セリフ以外に気を付けたこと」、「その時の気持ち」、「実際の場面で、相手はどんな反応を返したのか」等質疑応答の中で振り返りや気づきを深める
ま と め	感想や今後の心構えを「SSTワークシート」にまとめる (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ~ の活動の中で、感じたことやこれからの生活に生かしていきたいこと、今後の心構え等についてワークシートにまとめ、発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた内容は必ず発表し、メンバー全員で確認する ・実際やってみようと思う内容がある時はできる限り発表させる

【図4】別室登校生徒に対するSSTを取り入れた人とかかわる力を高める指導・援助の手だての試案

(2) 検証計画

別室登校生徒に対するSSTを取り入れた人とかかわる力を高める指導・援助の手だての試案の有効性について、次頁【表6】の検証計画に基づいて検証する。

【表6】検証計画の内容と方法

検証項目	検証内容		検証方法	処理・解釈の方法
別室登校生徒の人とかかわる力が高まる状況	受けとめ方に気付く	<ul style="list-style-type: none"> 相手の考えや感情に気付くことができる 相手の反応に対する自分の受けとめ方に気付くことができる 自分の行動をふり返り、状況に応じた適切な行動は何かに気付くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 質問紙法 事前と事後の質問紙法による意識調査 	<ul style="list-style-type: none"> 好意的な応答のスキルと働きかけのスキルの定着状況の変容を分析し考察する
	意欲が高まる	<ul style="list-style-type: none"> 担任や学級の生徒たちからの働きかけに応じようとする 自分の思いや考えを相手に伝えようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 面接法 観察法 実践過程におけるSSTの様子を観察する 	<ul style="list-style-type: none"> SST中の生徒の様子を観察し、「SSTワークシート」の記述内容から受けとめ方の気付きや変容、意欲が高まる変容を考察する

4 指導・援助の実践及び実践結果の分析と考察

(1) 手だての試案を取り入れた指導・援助の概要

個人情報保護のため、論旨に影響のない程度に加筆している。

ア 対象

(ア) 中学校第2学年 別室登校生徒2名

(イ) 対象生徒の概要

別冊資料2 p.3参照

「注」個人情報保護のため事例にかかわる別冊資料2は当日配布、回収いたします

イ 実践の期間

平成19年9月3日～28日のうち12日間

ウ SST(全15項目)の実践計画

実態調査の結果及び分析と考察に基づき、SSTを次のように計画する。

項目	日付	活動名 時間(分)	活動内容	応答のスキル 働きかけのスキル
1	9/3	見のがすな！ 聞き手のNG サイン！ (30)	<ul style="list-style-type: none"> 自分がされたいやだと思うNGサイン、自分がやってみようと思うOKサインのランキングを行う そのサインを使ってペアで会話する その時に感じたことをワークシートにまとめ、意見交流する 	9 うなずく あいづちをうつ
2	9/5	MISSION 39 ありがとう チャンス を逃すな！ (30)	<ul style="list-style-type: none"> 自分が感謝の気持ちを伝えるなら、どの方法が好きか選ぶ ありがとうと言われるとどんな気持ちができるか、確かめる ありがとうピンゴを行い、状況に応じて自分からどのようにありがとうを伝えるか書き加え、ロールプレイとフィードバックを行う 	8 感謝の気持ちを言葉に表す
3	9/6	忘れそうな ごめんなさい (25)	<ul style="list-style-type: none"> 設定された場面の中で3人の中であやまり方に違いがあるか考えて順番を決め、発表の基本型に沿って発表する 実際あやまるとしたらどんなセリフと行動をとるかを書き、ロールプレイとフィードバックを行う 	7 あやまる
4	9/10	ほめ方十人十色 (25)	<ul style="list-style-type: none"> 好みのほめ方は「さりげなく」「思いっきり」のどちらかにをつける ほめテクボックスから、それぞれのほめチャンスではどのテクを使うかを選び、番号を書く 一人一人のほめテクをロールプレイを行いながら、セリフや動作についてフィードバックを行う 	12 相手をほめる

5	9/11	どんな質問が いいかな？ (25)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な状況で、どんなセリフでどんなことに気を付けて質問するか、質問の例やきっかけ言葉も参考にしながらふり返る よくありそうな場面から順にペアでロールプレイとフィードバックを行う 感想をまとめ意見交流する 	19自分に手助けが必要なことを強調する
6	9/12	君はどっちが うれしいタイプ？ (10)	<ul style="list-style-type: none"> 質問に対してどちらが自分はどううれしいか二者択一で答える メンバーそれぞれと同じ答えがいくつあるかを数え相性を判断する 気を付けたいことを書く 	6 歩み寄る 13 あいまいな表現をする
7		説明と質問の ポイントは いっしょ！ (30)	<ul style="list-style-type: none"> 質問の内容でAとBグループに分けられることを確認する ～ のイラストについて自分で質問を考えて書き順番に一人一つずつ発表していく どんなことに気を付けて質問を考えたかをまとめ意見交流する 	18 情報や説明を 求める
8	9/13	話したとおりに 描けるかな？ (30)	<ul style="list-style-type: none"> 相手に情報を伝える時は「話の順序は全体的なことから細かな説明へ」というポイントを確認する 一人一人が描いた絵を言葉で説明し、それを聞きながらメンバーが描く 感想を書きこみ発表しあう 	15 ていねいに 話を終わらせる 17 情報を伝える
9	9/14	話し合い名人 君はどっち？ (20)	<ul style="list-style-type: none"> 6つの質問に対して自分はどちらを選ぶかを決め理由もメモする 話し合い名人の3つのコツと発表の仕方を確かめる お題によって一番に言う人を交代しながら、互いの意見や理由を聞く 理由について質疑応答や意見交流をして話し合いを深める 3つのコツが使えたか、またコツについての感想をまとめ発表する 	16 自分の立場・状況 を説明する
10		一枚うわでの 誘い上手・誘われ 上手 (25)	<ul style="list-style-type: none"> 誘い上手・誘われ上手にチャレンジするためのポイントやセリフの例を確かめる ～ の場面での誘い方について、セリフと気を付けることを考える メンバー同士ペアになりロールプレイとフィードバックを行う 誘う役の感想、今までをふり返って、今後気を付けたいことをまとめ発表しあう 	22 提案や誘い をする
11	9/19	気持ちよい 頼み方と断り方 (30)	<ul style="list-style-type: none"> もしもこんなふうに頼まれたらどうするか、自分の答えを決め意見交流する 上手な頼み方、上手な断り方、断りたくて困っている時のサイン、きっかけ言葉を確認する ゲームソフト事件についてAさんの心の声、Bさんに断る時のセリフと気を付けることをまとめ、ロールプレイとフィードバックを行う 感じたことを発表しあう ステップ2に設定された場面での頼む役・断る役についてセリフと気を付けることを考えて書き、ロールプレイとフィードバックを行う 頼む役・断る役それぞれの感想と最後に質問の欄を記入し、意見交流する 	5 人の要求に 応じる 10 人の要求を ていねいに断る 13 あいまいな 表現をする 21 要求をする 23 後の約束を とりつける
12	9/25	人生のもしもカード 友だちと気ま ずくなったときの巻 (20)	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと気まずくになったらどうするか、5つのもしもが実行されたら自分や相手はその後どうなるか選択肢から選び番号で書く 「むりやりランキング」を決め、理由も含め発表する やっぱり自分はこうすると思うランキングを決め、理由も含め発表しあう 今後気を付けたいことや使えそうなことをまとめ、 	20 相手の立場・感情を 理解し自分の立場を主張する

12	9/25	人生のもしもカード 友だちと気まずく なったときの巻 (20)	意見交流する ・仲直りしたいチャートを行い、自分に合いそうな解 決方法のヒントを得る	20相手の立場・感 情を理解し自分 の立場を主張す る
13		どんな理由なら 納得できる？ (10)	・電子辞書事件でのAさんの言ったこと、～ に対 する怒りのレベルを決める ・～ それぞれについて自分はどの怒りレベルか、 理由を含め意見交流する ・一番納得できない言い訳はどれか、番号と理由をま とめ発表しあう	20相手の立場・感 情を理解し自分 の立場を主張す る
14	9/27	グループ活動 これだけは 許せないランキング (20)	・もしも、こんなメンバーがいたらやる気がでない と思うかについて怒りのレベルとランキングを決め数 字を書く ・もしも、自分のグループのメンバーがこんな行動を とったらどんな気持ちになるかをまとめ発表しあう ・自分でやっていそうなことはあるかをふり返り、結 果を発表しあう ・これから気を付けたいことは何か、意見交流する	6 歩み寄る
15	9/28	自分の気持ちと 向き合おう (25)	・こんな勇気あるかなについて、あてはまる項目に をつけ、一つずつ結果を確認する ・学級の人にちょっかいを出された時、ガマンしてい る時の気持ちであてはまる項目に をつけ発表する ・自分のガマンの限界はどこか、怒りをはき出す方法 は何かをふり返り発表する ・自分の心の状態に近いと思われるハートのイラスト を選び、理由を含め意見交流する ・イラスト について、からかわれてへこんだ時に 自分を励ますセリフを考え、発表しあう ・使えそうな方法があるか、感想とともに発表する	20相手の立場・感 情を理解し自分 の立場を主張す る

エ 別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の実際

- (ア) 実践の活動案 1～15 別冊資料1 pp. 1-15 参照
 (イ) 「SSTワークシート」1～15 別冊資料1 pp.16-27 参照
 (ウ) 実践の概要 別冊資料2 pp. 4-11 参照

5 活動名：どんな質問がいいかな(スキル19 自分に手助けが必要なことを強調する)

10 活動名：一枚うわての誘い方・誘われ方(スキル22 提案や誘いをする)

11 活動名：気持ちよい頼み方と断り方 (スキル13 あいまいな表現)

概要では「受けとめ方に気付く」部分に____,「意欲が高まる」部分に____を付し,「S
S Tワークシート」に記入された内容を 内に示している。

- (2) 実践結果の分析と考察 別冊資料2 pp.12-18 参照

5 別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の在り方についてのまとめ

別冊資料2 pp.18-19 参照

「注」個人情報保護のため事例にかかわる補助資料2は当日配布,回収いたします

研究のまとめと今後の課題

1 研究のまとめ

この研究は別室登校生徒に対して, SSTをとおして,人とかかわる力を高める指導・援助の在り方を事例的に明らかにし,別室登校生徒の指導・援助に役立てようとするものであった。その結果,研究の方向性の妥当性が確かめられ,成果として次のことが得られた。

- (1) 別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の在り方についての基本構想の立

案

別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の在り方についての基本構想として、以下の3点を明らかにすることができた。

ア 別室登校生徒が感じている「別室から教室までの心理的距離」を左右する不安や緊張を和らげるために、人とかかわる力を高める変容をめざしたSSTを行うことが必要であるという基本的な考え方

イ 人間関係における不安や緊張を和らげるためには、応答と働きかけから成り立ち、学習することが可能なソーシャルスキルを、生徒の実態に即してトレーニングすることが有効であるというSSTを取り入れる意義

ウ ソーシャルスキルチェックシートや人とかかわる力に関するアンケートに基づくアセスメントを行って、選定した好意的な応答と働きかけのスキルについて、6つの場面から構成されるSSTを行うことが必要であるという指導・援助の構想

(2) 基本構想に基づく実態調査及び調査結果の分析と考察

SSTを行うに当たり実態調査の分析と考察から以下の2点を明らかにすることができた。

ア ソーシャルスキルチェックシートでは、別室登校生徒のみならず、その所属学級生徒に対しても同様の調査を行い実態把握することが、別室登校生徒のソーシャルスキルにおける傾向をとらえるための客観的な資料として有効であること

イ 人とかかわる力に関するアンケートでは、ロールプレイの充実や肯定的フィードバックをとおしたふり返りを深めることで「意欲を高める」こととするSSTの重点を設定できたこと

(3) 基本構想に基づく手だての試案の作成

一般的に用いられている「基本訓練モデルにおけるセッションの流れ」(SST普及協会)を基にして、6つの場面で構成されるSSTを別室登校生徒に行うこととし、留意点と確認のポイントを併せた手だての試案を作成することができた。

(4) 指導実践及び実践結果の分析と考察

実践の活動案と「SSTワークシート」を作成し、好意的な応答と働きかけのスキルを身に付けるためのSSTを行うことにより、別室登校生徒における人とかかわる力が高まることの2つの構成要素「受けとめ方に気付く」「意欲が高まる」についての変容を確認することができた。

(5) 別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める指導・援助の在り方についてのまとめ

好意的な応答と働きかけのスキルを身に付けるためのSSTは、別室登校生徒に対する指導・援助として有効であることを確認することができた。

2 今後の課題

この研究では、別室登校生徒に対して人とかかわる力を高めるために行うSSTは、好意的な応答と働きかけのスキルを身に付け、状況に応じて適切な行動ができるようになるために有効であることを明らかにすることができた。しかし、次の点については、更に検討していく必要がある。

(1) 別室登校生徒における人とかかわる力を高めるために、SSTを行うことへの意欲付けや効果的な肯定的フィードバックの在り方、好意的な応答と働きかけのスキルを効果的に身に付けられるようなロールプレイのための場面設定の工夫を図る。

(2) この研究の対象生徒への実践を継続するとともに、他の事例での実践を重ねながら、SSTによる変容と自己肯定感との関係性を探りながら、学級の生徒たちとの生活の中で、身に付けたスキルを実行できる場面を設定する。

<おわりに>

長期研修の機会を与えてくださいました関係諸機関各位並びに所属校の諸先生方と生徒のみなさん，そして，S S Tの指導をしていただいた岩手県立大学の伊関敏男先生に心から感謝申し上げ，結びのことばといたします。

【引用文献】

- 河村茂雄・品田笑子・藤村一夫（2007），『いま子どもたちに育てたい学級ソーシャルスキル小学校 中学年』，図書文化，p.85,115,119,143,155
- 河村茂雄・品田笑子・藤村一夫（2007），『いま子どもたちに育てたい学級ソーシャルスキル小学校 高等学校』，図書文化，p.81,89,105,139,143,151,163,171,191
- 佐藤正二（2003），「【ソーシャルスキルトレーニング】 適切な対人関係能力を身に付ける 」，『児童心理』6月号，金子書房，p.175
- 高取しづか+JAM ネットワーク（2007），『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』，合同出版，p.19,27,31,41,45,47,89,91，

【参考文献】

- 相川充（2000），『人づきあいの技術 社会的スキルの心理学』，サイエンス社
- 鹿児島県総合教育センター 研究紀要第106号（2004），『不登校児童生徒への指導・援助の在り方に関する研究 保健室等登校児童生徒への対応を通して 』
- 河村茂雄・品田笑子・藤村一夫（2007），『いま子どもたちに育てたい学級ソーシャルスキル小学校 中学年』，図書文化
- 河村茂雄・品田笑子・藤村一夫（2007），『いま子どもたちに育てたい学級ソーシャルスキル小学校 高学年』，図書文化
- 小林正幸（2002），『不登校の予防と再登校援助』，金剛出版
- 小林正幸（2004），『事例に学ぶ不登校の子の援助の実際』，金剛出版
- 杉浦守邦（1992），『「保健室登校」の指導マニュアル』，東山書房
- 高取しづか+JAM ネットワーク（2007），『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』，合同出版
- 福岡県S S T普及協会（1992），『精神科領域における社会技能訓練の実際 事例で学ぶS S T』，日総研
- 文部科学省初等中等教育局児童生徒課（2006），『生徒指導上の諸問題の現状と文部科学省の施策について』

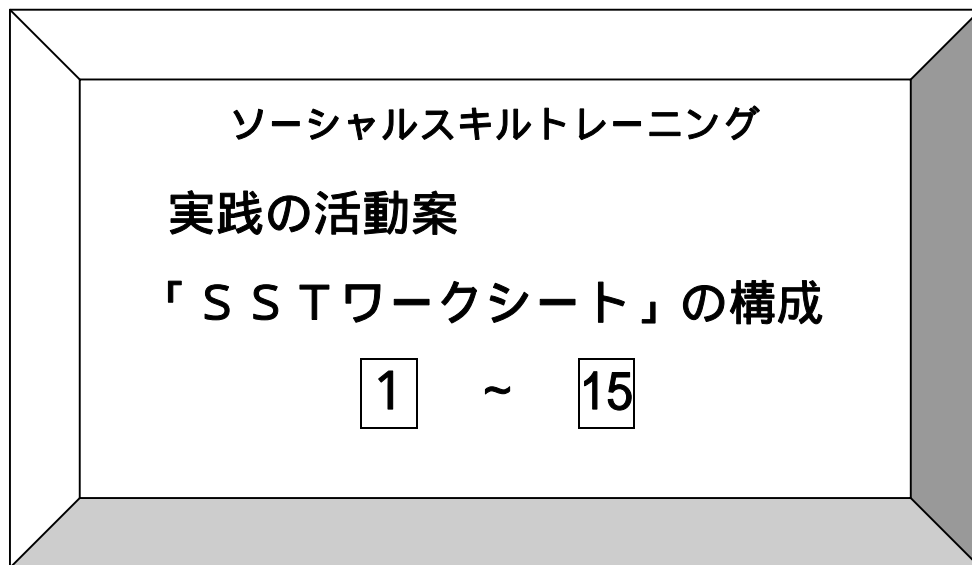
平成19年度（第51回）
岩手県教育研究発表会発表資料

教 育 相 談

別室登校生徒に対する人とかかわる力を高める
指導・援助の在り方に関する研究

ソーシャルスキルトレーニングをとおして

【別冊資料1】



平成20年1月9日
長期研修生
所属校 盛岡市立下橋中学校
氏名 堤 晶子

もくじ

実践の活動案

1	見のがすな！聞き手のNGサイン	1
2	MISSION39 ありがとうチャンスを逃すな！	2
3	忘れそうなごめんなさい	3
4	ほめ方十人十色	4
5	どんな質問がいいかな？	5
6	君はどっちがうれしいタイプ？	6
7	説明と質問のポイントはいっしょ！	7
8	話したとおりに描けるかな？	8
9	話し合い名人 君はどっち？	9
10	一枚うわての誘い上手・誘われ上手	10
11	気持ちよい頼み方・断り方	11
12	人生のもしもカード 友だちと気まづくなったときの巻	12
13	どんな理由なら納得できる？	13
14	グループ活動 これだけは許せないランキング	14
15	自分の気持ちと向き合おう	15

「SSTワークシート」の構成

1	見のがすな！聞き手のNGサイン	16
2	MISSION39 ありがとうチャンスを逃すな！	17
3	忘れそうなごめんなさい	18
4	ほめ方十人十色	18
5	どんな質問がいいかな？	19
6	君はどっちがうれしいタイプ？	19
7	説明と質問のポイントはいっしょ！	20
8	話したとおりに描けるかな？	21
9	話し合い名人 君はどっち？	22
10	一枚うわての誘い上手・誘われ上手	23
11	気持ちよい頼み方・断り方	24
12	人生のもしもカード 友だちと気まづくなったときの巻	25
13	どんな理由なら納得できる？	22
14	グループ活動 これだけは許せないランキング	26
15	自分の気持ちと向き合おう	27

1 活動名：見のがすな！聞き手のNGサイン			
スキル	9 うなづく あいづちをうつ ・聞き手としてのOKサイン，NGサインを知る ・NGサインを出している人との会話と，OKサインを出している人との会話における話し手の受ける印象の違いを体感し，自分の行動や気持ちをふり返る		
過程(時間)	活動内容・SSTの場面	指導・援助	準備
導入(10)	導入(アイスブレイキング) 1 あいさつをする 2 背中合わせの会話 3 アドジャン	・この実践の始まりの時間として，メンバー同士の緊張が和らぐよう雰囲気作りに努める ・短い時間で簡単にできる内容を選択する	
展開(17)	課題提示 4 OKサインのカードを配布 5 ワークシート配布 考え方や行動のふり返り 6 OKサインカードを並べ替える 7 ワークシートに書きこむ ロールプレイ 8 OKサインを用いてペアで会話 肯定的フィードバック 9 会話中の気持ちを交流する ワークシートでのまとめ 10 OKサインを出した時，出された時の感想をワークシートに書く 11 発表する 考え方や行動のふり返り 12 NGサインのカードを配布 13 NGサインカードを並べ替える ロールプレイ 14 NGサインを用いてペアで会話 肯定的フィードバック 15 会話中の気持ちを交流する	見のがすな！ 聞き手のNGサイン！ ・カード配布からワークシートまでを自然な流れの中で行えるよう配慮する ・OKサインカードを並べ替える様子を見ながら，並べた理由等，考えるヒントを与える ・話しやすいテーマを設定し，OKサインを使って話を聞くことが目的であることを意識させる ・OKサインを出された時は気持ちよく話せること，OKサインを出す時も，気持ちよく会話できること等が体験できたという言葉がでてくるよう質問する ・9で発表できなかった内容もワークシートにまとめることで，ふり返りを深める ・NGカードサインを並べ替える様子を見ながら，並べた理由等，考えるヒントを与える ・話しやすいテーマを設定し，NGサインを使って話を聞くことが目的であることを意識させる ・NGサインを出された時の話し手の不快感や，NGサインを出す時も，いつもとは違う行動に戸惑い，話し手に罪悪感を感じる等が体験できたという言葉が出てくるよう質問する	聞き手のOKサインカード ワークシート 聞き手のNGサインカード
まとめ(3)	ワークシートでのまとめ 16 NGサインを出した時，出された時の感想をワークシートに書く 17 今日のまとめや感想をワークシートに書く 18 メンバー同士で感想やその他，気が付いたこと等を発表しあう 19 あいさつをする	・今まで自分がNGサインを出していたことはなかったかも一度ふり返り，OKサインの大切さを改めて理解させる ・以後のSSTの中で聞き手のOKサインを使ってほしいことを教師側から話し，まとめとする	

3 活動名：忘れそうなごめんなさい			
スキル	7 あやまる ・自分の行動をふり返り，ロールプレイをとおして，自分にできそうなあやまり方を見つける ・発表の仕方の基本型に沿って，理由を含めた自分の意見を最後まで話す ・あやまる時に気を付けたいことを確認する		
過程(時間)	活動内容・SSTの場面	指導・援助	準備
導入(10)	導入(アイスブレイキング) 1 あいさつをする 2 すごろくトーク(自己開示)	・自己開示を図るため，楽しい雰囲気でお互いが話したり，聞いたりできるような働きかけを心がける	すごろく さいころ 消しゴム
展開(13)	忘れそうな ごめんなさい でも... 忘れないで伝えよう		ワークシート
	課題提示 3 ワークシート配布 4 テーマを確認し問題文をゆっくり読み内容をすすめていく 考え方や行動のふり返り 5 ステップ1一番忘れそうな順にA～Cの項目と番号を線で結ぶ 6 ステップ2「忘れそうなごめんなさいランキング」を基本型に従い，理由を含めワークシートに書きこむ 7 発表の仕方の基本型に従い，発表する 8 ステップ1に戻り1～3についてあやまる時のセリフを書く ロールプレイ 9 場面A～Bでのあやまり方をロールプレイを行う 肯定的フィードバック 10 ロールプレイについての意見交流をする	・ワークシート配布からステップ1導入までを自然な流れの中ですすめられるよう配慮する ・5，6を書いた後，ステップ2の発表の仕方の基本型に従って順番にランキングを発表していく ・聞きながら疑問な点があれば質問しあい，相手との距離感によるあやまり方の違いと，なぜそうしているか考え方の違いに気付かせる ・ロールプレイに生かせるよう，セリフだけでなく，声の調子や表情，ジェスチャーについても一緒に書いておくように伝える ・ジェスチャーや声の調子など8で決めたことを忘れずに，ロールプレイを行うように話す ・親友とクラスメート，よく知らない人への対応の違いについて，理由とともに確かめる ・まわりの人に気を遣っていることに気付かせたい ・あやまることに関連して印象に残っているエピソードがあればメンバー同士交流して，どのようにすればよかったのか話し合う機会をつくる	
まとめ(2)	ワークシートでのまとめ 11 「あやまる時に気を付けたいこと」をワークシートにまとめ，発表する 12 あいさつをする		・セリフやジェスチャー，声の調子等具体的な内容をふくめ書きこませる

4 活動名：ほめ方十人十色

スキル	<p>12 相手をほめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なほめ方のテクニックを知る ・場面によって自分はどんなほめ方ができるか考えロールプレイを行う ・日常自分は何をほめているかやどんなふうにはほめているかふり返り，まわりの反応を知る 		
過程(時間)	活動内容・SSTの場面	指導・援助	準備
導入(10)	<p>導入(アイスブレイキング)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 あいさつをする 2 1分間スピーチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチのテーマを書いたカードを6,7枚用意し，順番に一枚ずつ引き，書かれているテーマについてスピーチする ・話し手に集中して聞くよう注意を促す 	さいころ テーマ カード
展開(13)	<p style="text-align: center;">ほめ方十人十色「さりげなく」?「思いっきり」?</p> <p>課題提示</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 ワークシート配布 4 「十人十色」の意味の説明とステップ1導入を行う <p>考え方や行動のふり返り</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 9つのほめチャンスについて「さりげなく」「思いっきり」のどちらが好みかと，好みのほめ方をワークシートに書きこむ <p>ロールプレイ</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 5について書いた内容をジェスチャーも交え確認する <p>肯定的フィードバック</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 ロールプレイについて意見交流する 	<p style="text-align: center;">ほめ方十人十色「さりげなく」?「思いっきり」?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート配布から導入，ステップ1の内容説明までを自然な流れの中で行えるよう配慮する ・相手がほめられる時，「さりげなく」「思いっきり」のどちらが好みかを知り，それに合わせてほめ方を考えていくことの大切さに気付かせる ・1つのほめ方でも「さりげなく」「思いっきり」を意識して行くと印象が異なることに気付かせる ・ほめている時の表情や声の調子，今まで気付いていなかった自分の言動について，できるだけ多く取り上げ，フィードバックを行う ・日常どのようなほめ方をしているか，必要ならばロールプレイを行いながら改めて確かめる ・タイミングよくほめることの大切さに触れる 	ワーク シート
まとめ(2)	<p>ワークシートでのまとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> 8 7までの活動の中で書き落しがないか確かめ，SSTの活動内容をふり返る 9 あいさつをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日学んだことや気付いたことを発表する 	

5 活動名：どんな質問がいいかな？

<p>スキル</p>	<p>19 自分に手助けが必要と強調する</p> <p>・質問例や、尋ねる時、頼む時のきっかけ言葉を知る</p> <p>・いくつかの場面においてどんなセリフで、どのように質問するか考え、困っていることが伝えられるようにロールプレイを行う</p> <p>・ロールプレイやフィードバックをとおして自分の行動に自信を高める</p>		
<p>過程 (時間)</p>	<p>活動内容・SSTの場面</p>	<p>指導・援助</p>	<p>準備</p>
<p>導入 (10)</p>	<p>導入(アイスブレイキング)</p> <p>1 あいさつをする</p> <p>2 1分間スピーチ</p>	<p>・スピーチのテーマを書いたカードを6,7枚用意し、順番に一枚ずつ引き、書かれているテーマについてスピーチする(前回とはテーマを変える)</p> <p>・話し手に集中して聞くよう注意を促す</p>	<p>さいころ テーマ カード</p>
<p>展開 (13)</p>	<p>課題提示</p> <p>3 ワークシート配布</p> <p>4 今日のテーマを説明する</p> <p>5 質問例やきっかけ言葉について読みながら確認する</p> <p>考え方や行動の振り返り</p> <p>6 場面 ~ についてどんなセリフで質問したらよいか、気を付けることは何か、ワークシートに書きこむ</p> <p>ロールプレイ</p> <p>7 場面 ~ について6を基にし、ロールプレイを行う</p> <p>肯定的フィードバック</p> <p>8 ロールプレイについて意見交換をする</p>	<p style="text-align: center;">どんな質問がいいかな？</p> <p>・ワークシート配布から活動内容の概要説明までを自然な流れの中で行えるよう配慮する</p> <p>・ロールプレイでそのまま使えるように具体的なセリフを書くように話す</p> <p>・気を付けることでは視線、表情、身ぶり、声、話題の内容のどれかに をつけ、「どんな質問？」の欄にセリフとともに書きこませる</p> <p>・場面 ~ については場面毎にロールプレイと肯定的フィードバックを繰り返す</p> <p>・質問する役の気持ちも発表しあいながら、自分の考え方や行動、相手の反応の受けとめ方について振り返りを深める</p>	<p>ワーク シート</p>
<p>まとめ (2)</p>	<p>ワークシートでのまとめ</p> <p>9 SSTについての感想や今後気を付けたいこと等を書きとめる</p> <p>10 あいさつをする</p>	<p>・ロールプレイとフィードバックを数多く繰り返した中での感想や、今後気を付けたいこと等を書き、発表する</p>	

6 活動名：君はどっちがうれしいタイプ？			
スキル	6 歩み寄る 13 あいまいな表現をする ・自分に好みがあるように、相手にも好みがあり、相手の好みに近づくことの大切さに気付く ・相手を傷付けないやわらかい表現や、相手の好みにあわせた応答と働きかけが必要であることに気付く		
過程(時間)	活動内容・SSTの場面	指導・援助	準備
導入(1)	課題提示 1 あいさつをする	・「説明と質問のポイントはいっしょ」に入る前の導入として行うことを伝える 君はどっちがうれしいタイプ？	ワークシート
展開(7)	2 テーマと内容の概要を説明する 考え方や行動の振り返り 3 ステップ1について、自分はどっちがうれしいかを見つける 4 お題ごとに確認する 5 ステップ2では何人かの人と同じ答えの数を比べ相性をみる	・自分にうれしいタイプがあるように、相手にもうれしいタイプがあることに気付かせる ・1つずつ挙手などでどっちを選んだか確認する ・ステップ2では他の人と同じ答えがいくつあったか数え相手との相性診断をみる ・相性診断について感想を話し合う	
まとめ(2)	ワークシートでのまとめ 6 これから気を付けたいことをワークシートにまとめ発表する	・まとめたことを発表する	

7 活動名：説明と質問のポイントはいっしょ！

スキル	<p>18 情報や説明を求める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明と質問のコツA・Bグループの内容を知る ・上記の内容を基に課題に即して質問を作り，フィードバックを行う ・日常生活に生かしていこうとする意欲を促す 		
過程(時間)	活動内容・SSTの場面	指導・援助	準備
導入(10)	<p>導入(アイスブレイキング)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 あいさつをする 2 ワークシート配布 3 ワークシート「君はどっちがうれしいタイプ？」を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ1ではお題について自分はどっちをしてもらうとうれしいタイプか考えをつける ・1つずつ挙手等でどちらを選んだか確認する ・ステップ2では他の人と同じ答えがいくつあったか数え相手との相性診断をみる ・ステップ3ではこれから気を付けたいことを書く 	ワークシート
展開(17)	<p>課題提示</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 ワークシート配布 5 今日の課題と「説明&質問のコツ」を読みながら説明する <p>考え方や行動の振り返り</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 ~ のイラストを見ながら，質問を作りワークシートに書く <p>ロールプレイ</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 ~ のイラストについて作った質問を順番に発表し確認する <p>肯定的フィードバック</p> <ol style="list-style-type: none"> 8 発表された質問についてフィードバックを行う 	<p style="text-align: center;">説明と質問のポイントはいっしょ！ うまく伝えられるかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート配布から導入までを自然な流れの中で行えるよう配慮する ・5で確認した質問のコツA・Bグループの内容を生かし，できるだけ多くの質問を作るよう働きかける ・~ のイラストについて順番に1つずつ発表し，自分も同じ質問を作ったことや，どんなふうイラストを見て質問を作ったのか等，フィードバックと区切らずに意見交換を行う 	ワークシート
まとめ(3)	<p>ワークシートでのまとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> 9 説明や質問をするときに今後気を付けたいことを中心にワークシートにまとめ発表する 10 あいさつをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のスキルとしてこれからも使えそうな項目を具体的にまとめ，発表させる 	

8 活動名：話したとおりに描けるかな？			
スキル	15 ていねいに話を終わらせる 17 情報を伝える		
	<ul style="list-style-type: none"> 自分が言いたいことを最後までしっかりと伝えようとする 自分の思い込みに偏らず、相手にわかりやすく伝えるためのポイントと大切さを知る 		
過程(時間)	活動内容・SSTの場面	指導・援助	準備
導入 (10)	導入(アイスブレイキング) 1 あいさつをする 2 すごくトーク(自己開示)	<ul style="list-style-type: none"> 内容の異なるすごくを使って、自己開示を行い、この後のSSTに向けた雰囲気をつくる 	さいころ すごく
話したとおりに描けるかな？			
展 開 (17)	課題提示 3 ワークシート配布 4 今日の課題と活動内容について説明する 考え方や行動の振り返り 5 カードに一人1つ簡単なイラストを書く 6 自分の書いたイラストについて言葉だけで説明し、他のメンバーに伝える ロールプレイ 7 順番に自分の描いたイラストを言葉だけでメンバーに伝える 肯定的フィードバック 8 説明のしかたやわかりやすさ等についてフィードバックを行う 考え方や行動の振り返り 9 ワークシートの後半、～を別の言葉や物に例えて書く 10 ～まで何に例えたか、順番に発表する 肯定的フィードバック 11 例え方や表現の仕方について感じたことを話し合う	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート配布から導入までを自然な流れの中で行えるよう配慮する あまり複雑なイラストにならないよう付け加える 話の順序は「全体的なことから細かい説明へ」というポイントを生かし、言葉の説明だけで自分の描いたイラストを他のメンバーに伝えることをもう一度伝える 一人終わる度にフィードバックを行い、説明の仕方やわかりやすさ等について意見交流し、9と10を人数分繰り返す わかりやすく説明する方法のひとつとして比喻に触れ、～まで自分の言葉で例えを書かせる 同じことでも人によって見方、感じ方は様々であるためわかりやすい例えが必要であることに気付かせる 	ワークシート
まとめ (3)	ワークシートでのまとめ 12 今日の感想をワークシートに書き発表する 13 あいさつをする	<ul style="list-style-type: none"> まとめたことを発表する 	

9 活動名：話し合い名人 君はどっち？

スキル	<p>15 ていねいに話を終わらせる 16 自分の立場・状況を説明する</p> <p>・自分はどちらの立場に立っているか、理由とともに最後まで話す ・話し合いの3つのコツを知り、ロールプレイに生かす ・特に、次の人に話の順番をつなげる言葉の使い方に慣れる</p>		
過程 (時間)	<p>活動内容・SSTの場面</p>	<p>指導・援助</p>	<p>準備</p>
<p>導入 (5)</p>	<p>導入(アイスブレイキング)</p> <p>1 あいさつをする 2 1分間スピーチ</p>	<p>・スピーチのテーマが書かれたカードを1枚ずつひいて1分間スピーチを行う ・同じテーマはなるべく使わない</p>	<p>さいころ テーマ カード</p>
<p>展開 (13)</p>	<p style="text-align: center;">話し合い名人 君はどっち？ 「自分の意見をはっきり言おう」</p> <p>課題提示</p> <p>3 ワークシート配布 4 今日の課題と内容の説明をする</p> <p>考え方や行動の振り返り</p> <p>5 1番について二択の質問に答え、理由とともにワークシートに書きこむ 6 2番について話し合い名人の3つのコツを確認し書きこむ</p> <p>ロールプレイ</p> <p>7 発表の仕方に沿って順番に自分の立場を説明する</p> <p>肯定的フィードバック</p> <p>8 発表の仕方や話の内容、態度等についてフィードバックを行う</p>	<p>・ワークシート配布から導入までを自然な流れの中で行えるよう配慮する</p> <p>・6つの質問について理由とともに自分の意見を決めることを説明する</p> <p>・話し合いの3つのコツは、「決まった時間」「恥かしながら話す(態度)」「次の人に『どうぞ』と言ってつなげる」であることを確認し、発表の前にワークシートに書いておく</p> <p>・話している人に集中することや話し終わったら拍手をすることをタイミングよくやってみせ、一緒にやるように促す</p> <p>・発表の仕方に沿っているか、理由も述べているか、次の人にどうぞと言っているか等気が付いたことを話し合うようすすめる</p>	<p>ワークシート</p>
<p>まとめ (2)</p>	<p>ワークシートでのまとめ</p> <p>9 活動を振り返って3つのコツが使えるか表に記入する 10 発表する 11 あいさつをする</p>	<p>・3つのコツについて表に記入し終わったら、同じ欄に、感想を言葉で書いておくように指示する ・一人一人今日の取組のまとめを表に書いた内容を基に発表する</p>	

10 活動名：一枚うわての誘い上手・誘われ上手

スキル	<p>22 提案や誘いをする</p> <p>・一枚うわての「誘い上手」「誘われ上手」の条件を知る</p> <p>・ソーシャルスキルチェックシートの結果により別室登校生徒Bが最も困難を感じているスキルとして、実際に近い場面を設定し、同級生Cが参加することでBの不安や緊張を和らげSSTの効果を高める</p>		
過程(時間)	<p>活動内容・SSTの場面</p>	<p>指導・援助</p>	<p>準備</p>
<p>導入(5)</p>	<p>導入(アイスブレイキング)</p> <p>1 あいさつをする</p>	<p>・時間の制約をふまえショートエクササイズを行う</p> <p>・同級生CにSST参加に対する感謝を述べ、それまでとは違う状況でも変わらぬ態度でSSTに臨めるよう雰囲気作りに努める</p>	
<p>展開(17)</p>	<p style="text-align: center;">一枚うわての誘い上手・誘われ上手にチャレンジしよう</p> <p>課題提示</p> <p>2 ワークシート配布</p> <p>3 「誘い上手」「誘われ上手」の条件を説明し確認する</p> <p>考え方や行動の振り返り</p> <p>4 ~ の場面設定を説明する</p> <p>5 「自分の誘い方」をワークシートに書きこむ</p> <p>ロールプレイ</p> <p>6 メンバーの一人とペアになって誘う場面をロールプレイを行う</p> <p>肯定的フィードバック</p> <p>7 ロールプレイについて意見交流をする</p>	<p>・ワークシート配布から「誘い上手」「誘われ上手」の条件説明までは教師主導で行い、理解の状況を確認しながらすすめる</p> <p>・ ~ の場面設定について質問がないか確認しつつ、スムーズに誘い方を考えられるよう配慮する</p> <p>・場面 ~ についてそれぞれ6～8を行う</p> <p>・同級生Cが日常自然に行っている様子に気付き、同級生Cの感想を多く引き出し、受けとめ方の変容を促す</p> <p>・セリフはもちろん視線や声の調子、身ぶり手ぶり等どこに気を付けたか、質問しながら確かめる</p>	<p>ワークシート</p>
<p>まとめ(3)</p>	<p>ワークシートでのまとめ</p> <p>8 誘う人をロールプレイを行った感想、今日の感想をワークシートにまとめ発表する</p> <p>9 あいさつをする</p>	<p>・Bは日常生活で誘ったり提案したりすることがほとんどないので、他のメンバーのやりとりを見ながら、どんなスキルが自分に役立ちそうかを考え、発表させる</p>	

1 1 活動名：気持ちよい頼み方・断り方			
スキル	5 人の要求に応じる 10 人の要求をていねいに断る 13 あいまいな表現をする 21 要求をする 23 後の約束をとりつける ・上手な「頼み方」と「断り方」、あわせて断りたくて困っている時のサインやきっかけ言葉を知る ・実際に近く設定された場面に応じて、自分の考える頼み方と断り方をふり返る ・ロールプレイをとおして相手に与える印象や自分の気持ち、他の人のスキルを経験し見方を広げる		
過程(時間)	活動内容・SSTの場面	指導・援助	準備
導入(5)	導入(アイスブレイキング) 1 あいさつをする 2 週末3連休の過ごし方についてスピーチする	・生活の様子を知るために週末の過ごし方について自然な形で話せるようテーマを設定する	さいころ
展開(13)	課題提示 3 ワークシート配布 4 「上手な頼み方」「上手な断り方」の条件を説明し確認する 考え方や行動のふり返り 5 ステップ1の場面設定を説明 6 「Aさんの心の声」をワークシートに書きこみ発表しあう 7 他の人の意見で印象に残ったことを書きこみ発表しあう ロールプレイ 8 メンバーの一人とペアになって断る場面をロールプレイを行う 肯定的フィードバック 9 ロールプレイについて意見交流 ワークシートでのまとめ 10 ゲームソフト事件について考えたことをワークシートにまとめ発表する 考え方や行動のふり返り 12 ステップ2の場面設定を説明 13 【1】【2】について頼むときのセリフ、断るときのセリフ、それぞれの気を付けることをワークシートに書きこむ ロールプレイ 14 メンバーの一人とペアになって頼む役、断る役をロールプレイ 肯定的フィードバック 15 ロールプレイについて意見交流	気持ちよい頼み方と断り方を知ろう ・ワークシート配布から「上手な頼み方」「上手な断り方」の条件説明までは教師主導で行い、理解の状況を確認しながらすすめる ・ステップ1の内容が正しく伝わっているか確認しながらワークシートの記入状況を観察する ・自分やメンバーの考えからAさんの気持ちをしっかりととらえ、Bさんへの断り方を考えられるよう援助する ・少なくともAさんとBさんの両方の役を一度ずつロールプレイを行い、両方の気持ちを体験する ・「気を付けること」にあげた項目の効果や2人のやりとりについてフィードバックを行う ・自分の言葉でメンバーに発表する ・その中で気になったことについてはお互いに質問や意見を出し合いさらに深める ・ステップ2の【1】【2】についてそれぞれ12～15を行う ・セリフはもちろん「気を付けること」についてもどのようにするか具体的に表現させ、ロールプレイに生かせるようにする ・ロールプレイでのペアはできる限り変える ・【1】【2】で頼む役、断る役を少なくとも一度ずつロールプレイを行い、両方の気持ちを体験する ・フィードバックを行いながら、本当にあったことにも触れ、より現実に近づける	ワークシート
	まとめ(2)	ワークシートでのまとめ 16 頼む役、断る役、最後の質問に答えワークシートに書きこみ発表する 17 あいさつをする	・頼む役、断る役の感想と最後の質問について、発表しあい、まとめを共有する

1 2 活動名：人生のもしもカード 友だちと気まづくなつたときの巻			
スキル	20 相手の立場・感情を理解し自分の立場を主張する ・5つのもしもを考えながら，自分はどうの行動をとればいいのか方向付ける ・2つのランキングについて，理由とともに自分の立場を最後まで発表する ・Yes・No チャートにより自分と相手の相性を知る		
過程(時間)	活動内容・SSTの場面	指導・援助	準備
導入(5)	導入(アイスブレイキング) 1 あいさつをする 2 30秒じゃんけん	・簡単にでき，和やかな雰囲気を作れそうなエクササイズを選ぶ	
展開(12)	課題提示 3 ワークシート配布 4 今日の課題と内容と説明する 考え方や行動の振り返り 5 もしもカードについて自分や相手その後どうなるか ~ から選び，記号でワークシートに書きこむ 6 5で書いた内容を順番に文章にして発表する 7 「これはマシなほうだ」と思う，もしもむりやりランキングを決めワークシートに書きこむ 8 7で決めたランキングを理由とともに発表する 9 「やっぱり自分はこう思うランキング」を決めワークシートに書きこむ 10 9で決めたランキングを理由とともに発表する 肯定的フィードバック 11 10で発表された内容についてフィードバックを行う	人生のもしもカード 友だちと気まづくなつたときの巻 ・ワークシート配布から導入までを自然な流れの中で行えるよう配慮する ・3つまで選ぶとしているが，様子を見て4つ以上になっても構わないことを伝える ・自分や相手その後どうなっていくと思うか，わかりやすいように記号ではなく，文章としてわかりやすく話すことで，現実味を味わわせる ・決めたランキングは理由もあわせて発表することを伝え，教師が発表のモデルをみせる ・自分の今までの考え方や行動を振り返り，理由とともに発表できるよう，ランキングを決める ・発表を基にしながら，本人の今までの考え方や行動について振り返りが深まるように質問する	ワークシート
まとめ(3)	ワークシートでのまとめ 12 今後気を付けたいこと，使えそうなことをまとめ，発表する 13 Yes・Noですすむチャートにより仲直りについて自分の解決策のヒントを得る 14 あいさつをする	・チャートにより仲直りの方法の中で自分はどれがよいか，普段の自分と比べてみて感想を話し合う	

13 活動名：どんな理由なら納得できる？			
スキル	20 相手の立場・感情を理解し自分の立場を主張する ・Aさんの言い訳に対して自分は納得できるのか、自分の怒りレベルを決める ・一番納得できない言い訳を決め、理由とともに自分の意見を最後まで発表する		
過程(時間)	活動内容・SSTの場面	指導・援助	準備
導入(1)	課題提示 1 あいさつをする	・「グループ活動“これだけは許せない”ランキング」に入る前の導入として行うことを伝える どんな理由なら納得できる？	ワークシート
展開(4)	2 テーマと内容の概要を説明する 考え方や行動のふり返し 3 「電子辞書事件」についてAさんの言い訳に対する自分の怒りレベルを決めをつける 4 ~の怒りレベルを確認し、理由について質問する	・ ~の言い方をセリフとしていくつか言ってみて、イメージをつかませる ・怒りレベルを決めた理由を質問しあい、Aさんの気持ちやAさんのまわりの人の受けとめ方に気付かせる	
まとめ(5)	ワークシートでのまとめ 5 一番納得できない言い訳とその理由をまとめ、発表する 6 他のメンバーの考えを聞く	・自分の立場を理由とともに最後まで発表させる ・教師がモデルをみせながら、話し方のイメージをつかませる ・もしかして自分もAさんのようなことを言っていることはないかふり返し、ある場合は発表させ、共通理解を図る	

1 4 活動名：グループ活動 これだけは許せないランキング			
スキル	6 歩み寄る ・「自分のグループにこんなメンバーがいたらやる気がでない」と思う怒りのレベルを客観的に判断する ・実際自分のグループにいたらどんな気持ちになるか、自分はしていないかを振り返る ・適切な行動は何かに気付くことができる		
過程(時間)	活動内容・SSTの場面	指導・援助	準備
導入(5)	導入(アイスブレイキング) 1 あいさつをする 2 ワークシート配布 3 ワークシート「どんな理由なら納得できる？」を行う	・Aさんの言い訳に対する自分の怒りレベルを決めてつけ、結果を確認する ・一番納得できない言い訳とその理由を発表する ・意見や感想を交流する	ワークシート
展開(13)	課題提示 4 ワークシート配布 5 テーマと内容の概要を説明する 考え方や行動の振り返り 肯定的フィードバック 6 「こんなメンバーがいたらやる気がでない」という怒りのレベルと、やる気がでない&許せない順ランキングを決めて書く 7 もし自分のグループのメンバーがこんな行動をとったらどんな気持ちになるか考えて書く 8 もしかして自分でやっていそうなことがないか考えて書く	グループ活動 これだけは許せないランキング ・ワークシート配布から導入までを自然な流れの中で行えるよう配慮する ・～ について怒りのレベルとその理由、自分ならどんなことを言うか等、発表しあう ・自分のグループのメンバーがこんな行動をとったら、自分はどんな気持ちになるか発表する ・自分の考えたランキング1～3位を理由も含め、発表の仕方の基本型に従って、最後までしっかりと発表する ・自分がやっていそうなことはないか、その時のまわりの反応や自分の気持ち等、話題が実際の場面に近付いていくように働きかける ・話し合う中で適宜肯定的フィードバックを行うようにし、自然な流れを壊さないように配慮する	ワークシート
まとめ(2)	ワークシートでのまとめ 9 「これから気を付けたいことは何か」まとめたことを書きこむ 10 あいさつをする	・まとめた内容を発表し、互いの感想に対する意見を加えることができるよう援助する	

15 活動名：自分の気持ちと向き合おう

スキル	<p>20 相手の立場・感情を理解し自分の立場を主張する</p> <p>・困った時や、我慢をしている時の自分の行動をふり返り、適切な行動は何か気付くことができる</p> <p>・自分の心の具合を知り、自分の味方になるトレーニングを行い、不安や緊張を和らげる方法を知る</p>		
過程(時間)	活動内容・SSTの場面	指導・援助	準備
導入(3)	<p>導入(アイスブレイキング)</p> <p>1 あいさつをする</p> <p>2 ワークシート配布</p> <p>3 ワークシート【1】「こんな勇氣あるかな」を行う</p>	<p>・ショートエクササイズではなくワークシートの内容を導入の段階で行うことを伝える</p> <p>・【1】の1~10についてどこに をつけたか確認し、どのタイプかを見る</p>	ワークシート
展開(20)	<p>課題提示</p> <p>4 ワークシート配布</p> <p>5 テーマと内容の概要を説明する</p> <p>考え方や行動のふり返り</p> <p>6 【2】学級の人にちょっかいを出されたとき...ガマンしている時の気持ちを考え、答えを決める</p> <p>7 ガマンできなくなったとき、はっきり伝える場合のセリフや表情について考え、まとめる</p> <p>8 ガマンの限界ポイント、怒りをおさえるトレーニング、おさえた怒りをはきだす方法について自分の考えをふり返り、まとめる</p> <p>9 6~8をワークシートに書く</p> <p>ロールプレイ</p> <p>10 9でまとめた内容を必要に応じてロールプレイにより発表する</p> <p>肯定的フィードバック</p> <p>11 発表された内容に対してフィードバックを行う</p> <p>考え方や行動のふり返り</p> <p>12 「あなたの今の心の具合はどんな感じ?」についてあてはまるものに をつけ、どんな状態か考え、発表しあう</p> <p>13 「自分の味方になってあげるトレーニング~からかわれてへこんだ編」を考え、自分の考えを書く</p> <p>ロールプレイ</p> <p>14 13の内容を発表する</p> <p>肯定的フィードバック</p> <p>15 発表された内容に対してフィードバックを行う</p>	<p>自分の気持ちと向き合おう</p> <p>・ワークシート配布から導入までを自然な流れの中で行えるよう配慮する</p> <p>・ガマンしている時の自分の気持ちや受けとめ方に気付かせるような働きかけをする</p> <p>・ガマンの限界ポイントは何か、自分の言葉で発表させる</p> <p>・怒りをはきだす方法として自分は何をしていたか、これからどのような方法を使っていくか、質問し発表させる</p> <p>・内容によっては、ロールプレイを取り入れる</p> <p>・話し合う中で、適宜肯定的フィードバックを行うようにし、自然な流れを壊さないように配慮する</p> <p>・どのイラストを選び、それは自分の心のどんな状態か、それはどんな状況のときか質問しながら、本人の受けとめ方に気付かせる</p> <p>・ ではどんなセリフを言われているか自分が言われて嫌な言葉を考えさせる</p> <p>・その言葉を言われた時に、自分の向かって励ます言葉を考え、ロールプレイにより確かめる</p> <p>・できるだけ多くの言葉を出させ、言葉にして自分で聞くことが大事だということを強調してフィードバックを行う</p>	
まとめ(2)	<p>ワークシートでのまとめ</p> <p>16 まとめを書き、発表する</p> <p>17 あいさつをする</p>	<p>・使えそうな内容があるか、感想等書いてまとめる</p>	

1 活動名 見のがすな！聞き手のNGサイン

()年()組 氏名()

課題提示

場面における考え方や行動の振り返り

ロールプレイによる状況・対応の再現

活動内容として以下の部分を活用する

ステップ1 聞き手の出すNGサインを自分がされたいやだと思う順に、OKサインを自分がやってみようと思う順に書いてみよう。(付け加えてもいいよ)

「NGサインの例、OKサインの例」

河村茂雄・品田笑子・藤村一夫編著(2007),

『いま子どもたちに育てたい 学級ソーシャルスキル 小学校中学年』, 図書文化 p.118

ステップ2 どんなふう感じたかな? 忘れないようにメモしておこう

【1】自分がNGサインを出されたとき

【2】自分がNGサインを出したとき

【3】自分がOKサインを出されたとき

【4】自分がOKサインを出したとき

「SSTワークシート」でのまとめ

最後に今日の
感想をどうぞ!

2 活動名 MISSION 39 ありがとうチャンスを逃すな！

()年()組()

課題設定

場面における考え方や行動の振り返り

活動内容として以下の部分を活用する

ワーク「あなたはどんなふうに『ありがとう！』の気持ちを表すかな？」

好きな伝え方を選んで、いくつでもいいから をつけてね

高取しづか+JAM ネットワーク (2007) ,

『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』, 合同出版 p.27

場面における考え方や行動の振り返り

ロールプレイによる状況・対応の再現

活動内容として以下の部分を活用する

ありがとうビンゴ チャレンジャー

- 1, ありがとうと言ってほしい「ありがとうチャンス」を9個考えてマスに書きましょう
- 2, 「やり方とルール」を守って, ありがとうビンゴをしましょう！

「SSTワークシート」でのまとめ

3, ありがとうと言われるとどんな気持ちになりますか？

河村茂雄・品田笑子・藤村一夫編著 (2007)

『いま子どもたちに育てたい 学級ソーシャルスキル 小学校高学年』, 図書文化 p.85

「SSTワークシート」でのまとめ

最後に今日の
感想をどうぞ！

「SSTワークシート」の構成

スキル7 あやまる

3 活動名 忘れそうなごめんなさい

()年()組 氏名()

課題設定

場面における考え方や行動の振り返り

ロールプレイによる状況・対応の再現

活動内容として以下の部分を活用する

もしも ランキング 忘れそうなごめんなさいの巻

ステップ1 次の3人の中で、自分があやまるのを忘れてそのまま通り過ぎそうな人はだれでしょう
忘れそうな順に、番号と線で結びましょう

ステップ2 「忘れそうなごめんなさいランキング」とその理由を発表し合いましょう

ステップ3 A, B, Cの相手にそれぞれどんなふうにあやまったらいいかを考えて、上のふきだし
に(あやまる時のセリフ)を書きましょう

河村茂雄・品田笑子・藤村一夫編著(2007)

『いま子どもたちに育てたい 学級ソーシャルスキル 小学校高学年』, 図書文化 p.81

「SSTワークシート」でのまとめ

今日の最後にお返事を！
「あやまる時に気を付けたいことは何ですか」

「SSTワークシート」の構成

スキル12 相手をほめる

4 活動名 ほめ方十人十色

()年()組 氏名()

課題設定

場面における考え方や行動の振り返り

ロールプレイによる状況・対応の再現

活動内容として以下の部分を活用する

ほめ方十人十色

ステップ1 次のほめチャンスするとき、どんなほめ方をされたらうれしいか考えよう
ほめテクボックス

ステップ2 自分の好みのほめられ方を下の言い方を参考に発表し合いましょう

河村茂雄・品田笑子・藤村一夫編著(2007)

『いま子どもたちに育てたい 学級ソーシャルスキル 小学校高学年』, 図書文化 p.139

「SSTワークシート」でのまとめ

最後に今日の
感想をどうぞ！

「SSTワークシート」の構成

スキル19 自分に手助けが必要なことを強調する

5 活動名 どんな質問がいいかな？

()組()番 氏名()

課題提示

場面における考え方や行動の振り返り

ロールプレイによる状況・対応の再現

活動内容として以下の内容を活用する

ワーク「こんなとき、どんな質問をしたらいいかな？」

高取しづか+JAM ネットワーク (2007),

『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』, 合同出版 p.89

「SSTワークシート」でのまとめ

最後に今日の
感想をどうぞ!

今までを振り返って or 今後気を付けたいこと or 感想...

「SSTワークシート」の構成

スキル6 歩み寄る

スキル13 あいまいな表現をする

6 活動名 君はどちらがうれしいタイプ？

()組()番 氏名()

課題提示

場面における考え方や行動の振り返り

活動内容として以下の部分を活用する

ステップ1 次のお題について自分はどちらをしてもらおうと嬉しいタイプか考えて をつけよう
色をぬってもいいよ

ステップ2 ステップ1の答えをほかの人と比べてみよう だれがどこに入るかな

河村茂雄・品田笑子・藤村一夫編著 (2007),

『いま子どもたちに育てたい 学級ソーシャルスキル 小学校高学年』, 図書文化 p.191

「SSTワークシート」でのまとめ

これから気を付けたいことを書きましょう

<hr/>

7 活動名 説明と質問のポイントはいっしょ！

()組()番 氏名()

課題提示

活動内容として以下の部分を活用する

ワーク「どう質問したらいいかわからないとき」

< Aグループ >

「いつ」「だれが」「どこで」「なにをした」

< Bグループ >

「どうして(なぜ)」「どうやって」

高取しづか+JAM ネットワーク (2007),

『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』, 合同出版 pp.90-91

場面における考え方や行動のふり返り

ロールプレイによる状況・対応の再現

活動内容として以下の部分を活用する

ワーク「イラストを見ながら質問を作ってみよう！」

ぼくは旅行に行きました

こんなところに行きました

帰ってきたところです。

「どれだけたくさん質問できたかな？」

高取しづか+JAM ネットワーク (2007),

『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』, 合同出版 pp.90-91

「SSTワークシート」でのまとめ

これから気を付けたいことを書きましょう

<hr/>

「SSTワークシート」の構成

スキル15 ていねいに話を終わらせる

スキル17 情報を伝える

8 活動名 話したとおりに描けるかな？

()組()番 氏名()

課題提示

活動内容として以下の部分を活用する

見た目やふんいきを伝えたいとき

話の順序は...

全体的なこと こまかい説明

はじめに、「犬」とか「バッグ」とか、大きな
くくりから説明するんだよ

その次に細かいところを説明しよう

場面における考え方や行動のふり返り

ロールプレイによる状況・対応の再現

ワーク1 「ふたり一緒になって、絵の内容をことばで説明してみよう！」

イラストを見せないで、言葉だけで説明しよう

イメージが伝わった説明だったか、イラストとくらべてみよう

高取しづか+JAM ネットワーク (2007),

『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』, 合同出版 pp.44-45

場面における考え方や行動のふり返り

活動内容として以下の部分を活用する

ワーク2 「次の()にことばを書きこんでみよう」

の中から選んでもいいよ

「 くらい」というのもあるよ

高取しづか+JAM ネットワーク (2007),

『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』, 合同出版 pp.46-47

「SSTワークシート」でのまとめ

最後に今日の
感想をどうぞ!

「SSTワークシート」の構成

スキル16 自分の立場・状況を説明する

9 活動名 話し合い名人 君はどっち？

()年()組 氏名()

課題設定

場面における考え方や行動の振り返り

ロールプレイによる状況・対応の再現

活動内容として以下の部分を活用する

話し合い名人 キミはどっち？

- 1 どっちを選ぶか決めて、 をつけましょう
- 2 話し合い名人の「3つのコツ」を使いながら、選んだものと理由を順番に発表しましょう

河村茂雄・品田笑子・藤村一夫編著(2007)

『いま子どもたちに育てたい 学級ソーシャルスキル 小学校中学年』, 図書文化 p.115

「SSTワークシート」でのまとめ

最後に今日の
感想をどうぞ!

「SSTワークシート」の構成

スキル20 相手の立場・感情を理解し自分の立場を主張する

13 活動名 どんな理由なら納得できる？

()年()組 氏名()

課題設定

場面における考え方や行動の振り返り

活動内容として以下の部分を活用する

どんな理由なら納得できる？

電子手帳事件

ステップ1 Aさんは次のように言い返しました 君の怒りレベルに をつけましょう

ステップ2 あなたが一番納得できない言い訳は何番ですか 番号と理由を書きましょう

河村茂雄・品田笑子・藤村一夫編著(2007)

『いま子どもたちに育てたい 学級ソーシャルスキル 小学校高学年』, 図書文化 p.89

「SSTワークシート」でのまとめ

最後に今日の
感想をどうぞ!

今までを振り返って or 今後気を付けたいこと or 感想...

10 活動名 一枚うわての誘い方・誘われ方

()年()組()

課題提示

課題提示の内容として以下の部分を活用する

ステップ1「誘い上手」にチャレンジしよう

ステップ2「誘われ上手」にチャレンジしよう

河村茂雄・品田笑子・藤村一夫編著(2007),

『いま子どもたちに育てたい 学級ソーシャルスキル 小学校高学年』, 図書文化 p.163

場面における考え方や行動のふり返り

ロールプレイによる状況・対応の再現

次のような場面での誘い方を考えてやってみよう(今日の返事はすべてYes!)

状 況	セリフ & 気を付けること (・視線・身ぶり・表情・声の調子)	誘う役の感想
体育でのグループ分け 2人組み同士,自分達から4人組 になるうと言う		
今週の土曜日,一緒に映画を観に 行けるように言いたい		
今日部活のあと,一緒に帰りたい 遅れてもちょっと待っていてほし い		

「SSTワークシート」でのまとめ

最後に今日の
感想をどうぞ!

今までを振り返って or 今後気を付けたいこと or 感想...

「SSTワークシート」の構成

- スキル5 人の要求に応じる
- スキル10 人の要求をていねいに断る
- スキル13 あいまいな表現
- スキル21 要求をする
- スキル23 後の約束をとりつける

11 活動名 気持ちよい頼み方と断り方

()年()組()

課題提示

課題提示の内容として以下の部分を活用する

資料1：導入のお題「こんなふうに頼まれたらきみはどうする？」

資料2：「断りたくて困っているときの例（NGサイン）」

資料3：「頼み方のコツの説明例」

河村茂雄・品田笑子・藤村一夫編著（2007），『いま子どもたちに育てたい 学級ソーシャルスキル 小学校中学年』，図書文化 p.155

場面における考え方や行動のふり返し

ロールプレイによる状況・対応の再現

ステップ1 もしも...次のような場合Aさんはなぜ断れないでいるのか心の声を想像してみよう
では、上手な断り方のコツを使って断る時のセリフと気を付けることをまとめよう

<p>< Bさんに断る時のセリフ ></p>	<p>< 気を付けること～どのように ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・視線 () ・身ぶり () ・声の調子() ・表情 ()
------------------------------	---

ステップ2 下にあるような場合の頼み方と断り方を考えて、ペアでやってみよう

【1】貸したお金を返してほしい（今日言って断られたけど明日また言わなきゃ）

<p>< 頼む時のセリフ ></p>	<p>< 気を付けること～どのように ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・視線 () ・身ぶり () ・声の調子 () ・表情 () 	<p>頼む役の感想</p>
<p>< 断る時のセリフ ></p>	<p>< 気を付けること～どのように ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・視線 () ・身ぶり () ・声の調子 () ・表情 () 	<p>頼む役の感想</p>

「SSTワークシート」でのまとめ

今日の最後に質問！
「頼む時，断る時
気を付けたいことは」

頼む時	断る時
-----	-----

12 活動名 人生のもしもカード 友だちと気まずくなったときの巻

()年()組 氏名()

課題提示

場面における考え方や行動のふり返り

ロールプレイによる状況・対応の再現

活動内容として以下の部分を活用する

ステップ1 友だちとちょっともめて気まずいカンジになったとき、
どんな行動をとったらよいか考えよう

5枚のもしもカードについて、それぞれを実行したら自分や相手その後どうなるか
予想します
下からあうものを選んで書きます。同じものを何回使ってもいいです。
3つまで選んでいいです あうものがなかったら、自分で考えたことを書きます。

ステップ2 「これはマシなほうだ」と思う、もしもカードむりやりランキングを決定しよう

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位

河村茂雄・品田笑子・藤村一夫編著(2007),
『いま子どもたちに育てたい 学級ソーシャルスキル 小学校高学年』, 図書文化 p.171

ステップ3 仲直りしたいとき Yes・No ですすむチャート

一番大事なことはことばや態度に「気持ち」をこめるってこと
そのときにあったどれかをやってみよう

高取しづか+JAM ネットワーク(2007),
『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』, 合同出版 pp.18-19

場面における考え方や行動のふり返り

でもやっぱり自分はこうすると思うランキング

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位

「SSTワークシート」でのまとめ

今後気を付けたいこと, 使えそうなことを書いてみよう!

14 活動名 グループ活動 これだけは許せないランキング

()年()組 氏名()

課題設定

場面における考え方や行動のふり返し

活動内容として以下の部分を活用する

ステップ1 グループにいた許せない2人組は、次のお題のうちどれか考えよう

お題のような2人がいたらどんな気持ちになるか、怒りのレベルをチェックします

怒りのレベルを参考に、やる気がでない&許せない順にランキングにします

ステップ2 自分の考えたランキング1～3位と許せない理由を発表しよう！

河村茂雄・品田笑子・藤村一夫編著(2007)

『いま子どもたちに育てたい 学級ソーシャルスキル 小学校高学年』, 図書文化 p.151

「SSTワークシート」でのまとめ

もし自分のグループ
のメンバーがこんな行動をとったら
どんな気持ちになりますか

これから気を付け
たいことは何ですか

15 活動名 自分の気持ちと向き合おう

()年()組 氏名()

場面における考え方や行動の振り返り

活動内容として以下の部分を活用する

みんなにあわせるのが苦しくなったとき

ワーク「一人でいる勇気，あるかな？」

高取しづか+JAM ネットワーク（2007），

『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』，合同出版 pp.34-35

仲がいい子にからまれたとき

ワーク1「じぶんのほんとの気持ちは，どうなんだろう？」

「こころを強くするトレーニング」本番の前に予行練習をしよう

高取しづか+JAM ネットワーク（2007），

『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』，合同出版 pp.32-33

キレそうなとき

ワーク1「怒りをおさえるトレーニング」

ワーク2「気持ちをはき出すトレーニング」

ワーク3「ガマンの限界ポイントをさがす」

高取しづか+JAM ネットワーク（2007），

『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』，合同出版 pp.38-39

どうせじぶんなんて...と思ったとき

ワーク1「あなたの今のこころのぐあいは，どんな感じ？この中にある？」

高取しづか+JAM ネットワーク（2007），

『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』，合同出版 pp.40-41

からかわれてへこんだとき

自分の味方になってあげるトレーニング～からかわれてへこんだとき編

鏡の中にいる自分に向かって言ってみよう！言葉を自分の耳から聞くことが大事なんだよ！

高取しづか+JAM ネットワーク（2007），

『イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング』，合同出版 pp.30-31

「SSTワークシート」でのまとめ

使えそうなのあるかな？
感想もどうぞ！

